

事務事業名	学校給食における域産域消推進事業				会計	一般会計						
H27担当課等名	学校教育課		H27係等名	保健給食係		事業種別	政策	開始	15	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		H26係等名	保健給食係						
	施策	22	義務教育の充実									
目的	対象(誰・何を)	学校給食を提供している飯田市内の児童・生徒				対象指標	指標名及び単位			26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	飯田下伊那地域で生産された農畜産物の学校給食での利用による域産域消を推進					児童・生徒数			8919		
	向上させたい上位施策の成果指標	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 ア)小学校 イ)中学校					学校給食調理場数			6		
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	地元農産物(主要10品目)の学校給食での使用率:単位% (地元産使用量(kg)/全食材使用量(kg) 5月~11月)				35	54.9	35	35			
	成果指標	給食に使った食品数のうち、長野県産の使用率:単位% 6月、11月に1週間ずつ調査				50	55	50	50			
	定性目標											
事業概要	<p>1 飯田下伊那で生産された農畜産物等の学校給食食材としての利用を促進する。 2 地元野菜主要三品目の新納品システム導入による利用率の向上を図る。 3 農業課の『域産域消 公共施設等推進事業』との連携展開を図る。 調理場:丸山共同調理場・矢高共同調理場・竜峡共同調理場・上郷小学校・高陵中学校・南信濃給食センター 4 学校給食で使用する農畜産物を食育教材として活用し、児童生徒が地域食材の「旬」や郷土の「食」に関心を寄せ、地球環境について考える機会とする。</p>											
	事業内容					名称			活動指標			
26年度事業内容	<p>1 域産域消と食育を推進するため「食育の日」を各調理場月1回実施するように努力する。 2 地域産農産物10品目を中心として利用促進を図る。重量による評価から、 3 地場産品の品数を増加させた質の面からの評価を行う 4 域産域消について『飯田市食育推進計画』に基づいた学校給食調理場職員による食育の推進</p>					<p>地元食材の日と給食回数 域産域消に向けた関係課・関係者との会議数</p>			<p>72回 1回</p>			
	事業コスト					25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足		
	事業費計(千円)①					310	376	289	376			
	国庫支出金											
県支出金												
起債												
その他												
一般財源					310	376	289	376				
人件費計(千円)②					143		143					
正規職員所要時間					40		40					
臨時職員所要時間												
総事業費①+②					453	376	432	376				
事業内容・目標達成状況の振り返り	地域食材を給食の献立に活用する情報収集に取り組み、給食提供に繋がった。											
改革改善の考え方	①問題点	あざれあ経由で出荷している農家、上郷地域の出荷農家が高齢化しており、生産量が減少してきている。米についても、こだわり米での集荷が必要量の6割にとどまる。										
	②改革提案	全農安全基準米の飯田産米を残り4割確保する。										